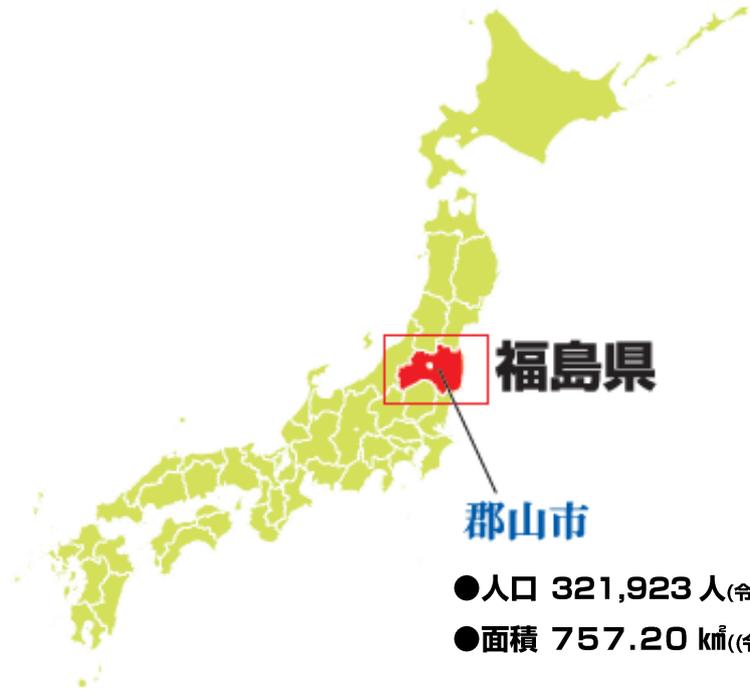


要 望 書



令和5年10月17日

郡山地域道路整備促進期成同盟会会長
郡山商工会議所会頭 滝田 康雄



目 次

1. 道路整備財源の大幅な確保について
2. 国道288号富久山バイパスの整備促進について
3. 内環状線の整備促進について
4. 国道4号（あさか野バイパス）の立体交差化について
5. 国道49号（安子島地区の拡幅）の4車線化について

1. 道路整備財源の大幅な確保について

道路は、市民生活や経済・社会活動を支える基礎的な社会資本であり、地域の安全・安心、地方創生及び地域経済に好循環をもたらすなど、道路のストック効果は多様にあり、これを早期に発現させるためには、着実かつ計画的な整備が重要であります。

また、東京電力福島第一原子力発電所事故を含む東日本大震災においては、災害時の代替路線の確保や医療施設へのアクセス、ダブルネットワーク強化など安全性・信頼性の向上に資する取組みの必要性を現実として実感いたしました。

郡山地域には、医療、教育等の都市機能が集中しており、周辺市町村からの緊急車両等のアクセスは喫緊の課題であります。

このため、次の事項について強く要望いたします。

- 一 国民の生命・財産を守り、社会の重要な機能を維持するため、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に必要な予算・財源について、これまでのペースを緩めることなく、計画的に事業を進捗できるよう令和5年度補正予算を例年以上の規模で確保すること。
- 一 また、近年の災害の状況も考慮しつつ、切れ目無く、継続的・安定的に国土強靱化の取組を進めるため、国土強靱化実施中期計画を早期に策定し、必要な予算・財源を通常予算に加えて別枠で確保すること。

これらの項目を踏まえ、資材価格の高騰や賃金水準の上昇している昨今、必要な道路整備・管理を長期安定的に進め、必要な事業量を計画的に執行できるよう新たな財源を創設するとともに、令和6年度道路関係予算は所要額を満額確保すること。また、国土強靱化のみならず、我が国の成長力及び国際競争力の強化、さらには生産性の向上の観点からも、公共事業を含む令和5年度補正予算を速やかに編成すること。

2. 国道288号富久山バイパスの整備促進について

国道288号は、県中地域の郡山市と浜通り地域の双葉郡双葉町を結ぶ延長85.5kmの幹線道路であり、緊急輸送道路第二次確保路線に指定されており、また福島県復興計画の「復興まちづくり・交流ネットワーク基盤強化プロジェクト」において一部が「ふくしま復興再生道路」となっている幹線道路です。

県中地域では郡山市富久山町から田村市船引町までバイパスが順次整備されていますが、交通量が非常に多く、未整備区間となっている富久山バイパスは市街地渋滞緩和重要区間でもあり、生活道路に通過交通が入り込むため、早期の整備が課題であります。つきましては早期整備並びに財源確保を要望します。



富久山バイパス未整備部分



4. 国道4号（あさか野バイパス）の立体交差化について

国道4号（あさか野バイパス）は、市街地を通過する交通の適切な分散・誘導のため、高規格道路として建設された道路であります。

一方、郡山市久留米地内の仁池向交差点をはじめ計6ヶ所が平面交差点のままとなっていることから、日常的に渋滞の原因となっております。また、渋滞回避の通過車両が生活道路に流入するなど、市民生活に大きな影響を及ぼしております。

つきましては、国道4号（あさか野バイパス）の円滑な交通確保及び市内交通の円滑化のため、立体交差の整備を要望いたします。



仁池向交差点



柴宮交差点



旧長沼街道交差点



笹川南向交差点



明見前交差点



木工団地入口交差点

5. 国道49号(安子島地区の拡幅)の4車線化について

国道49号は、福島県いわき市と新潟県新潟市を結ぶ直轄国道で、物流や地域間交流、観光において郡山市を東西に横断する交通の大動脈となっており重要路線としての役割を果たしております。また、当路線は磐越自動車道と共に、冬期間には風雪による大規模な車両滞留や長時間の通行止めが発生する路線であるため、相補性のある重要な道路であります。

平成9年度には熱海バイパスが整備され、温泉やスキーなど観光に訪れる車両の円滑化が図られましたが、未着手となっている2車線区間は渋滞が顕著となっております。

つきましては、本県交通を支える根幹道路として安全な交通環境を確保するためにも、郡山市喜久田町から熱海町安子島間の4車線化の整備を要望いたします。

